

令和2年における北陸3県の災害復旧事業費(国庫補助対象)について

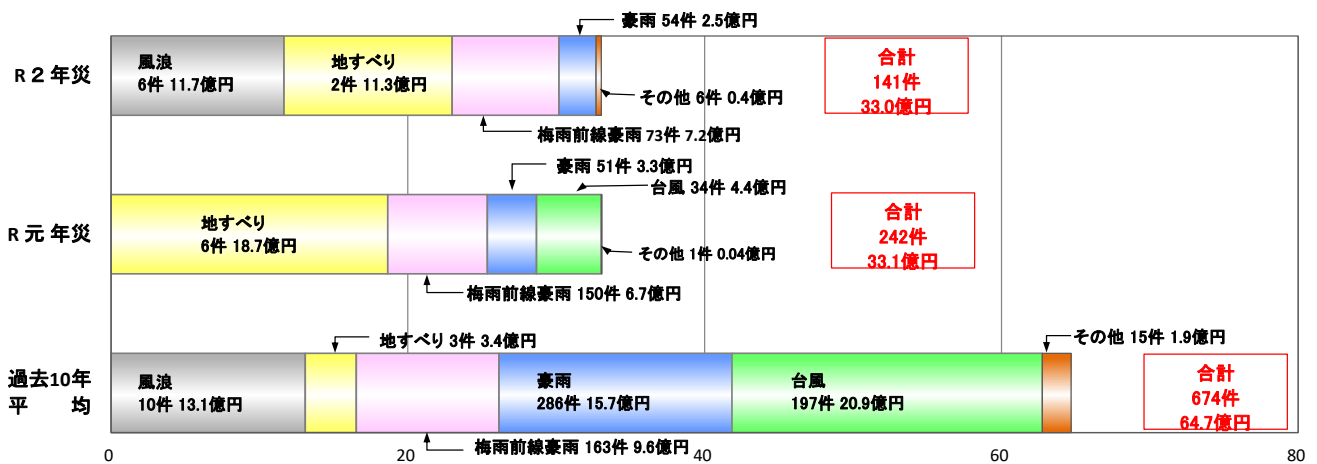
～件数では過去2番目、金額では前年と同規模で過去4番目の少なさ～

北陸財務局が立会した北陸3県(富山県、石川県、福井県)内における令和2年発生災害復旧事業費は、141件、33億円となり、統計で確認ができる1975年(昭和50年)以降では、件数は2番目、金額は4番目に少ない年となりました。

令和2年発生災害を災害別(金額)にみると、石川県白山市の林道で発生した大規模な地すべりや、小松市や富山県朝日町などの海岸のほか、福井県越前町の漁港で発生した風浪による被害が主な原因となりました。

また、施設別にみると、道路や河川護岸等の公共土木施設が47件、16億6千万円、林道が18件、12億5千万円、農地農業用施設が67件、1億4千万円、などとなりました。

災害別の被害の状況

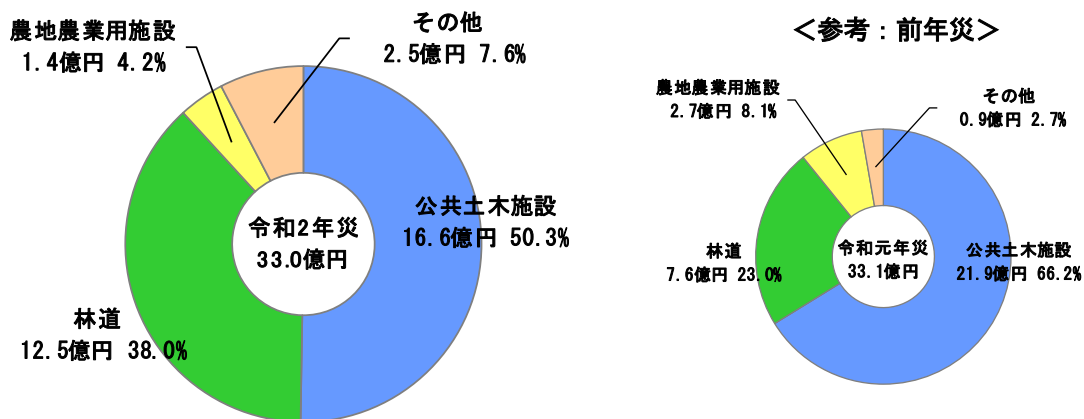


注1: 表示単位未満は四捨五入をしているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

注2: その他とは、融雪、落雷、地震、異常積雪等であり、発生しない年もあります。

(単位:億円)

施設別の被害の状況



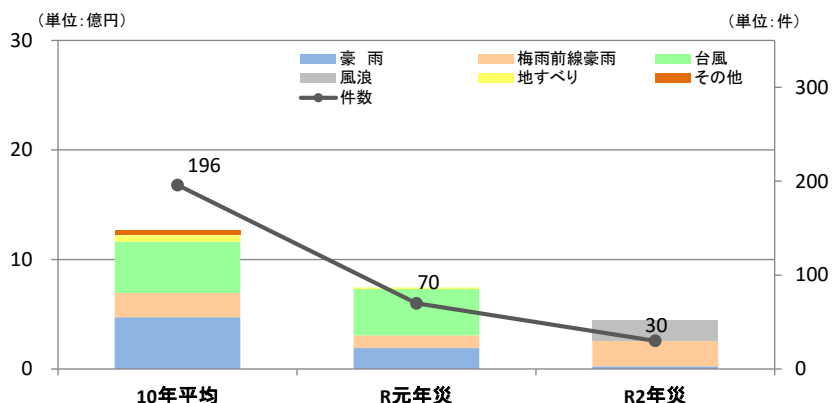
注1: 表示単位未満は四捨五入をしているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

注2: その他とは、漁港、港湾、林地荒廃防止施設等です。

各 県 の 状 況

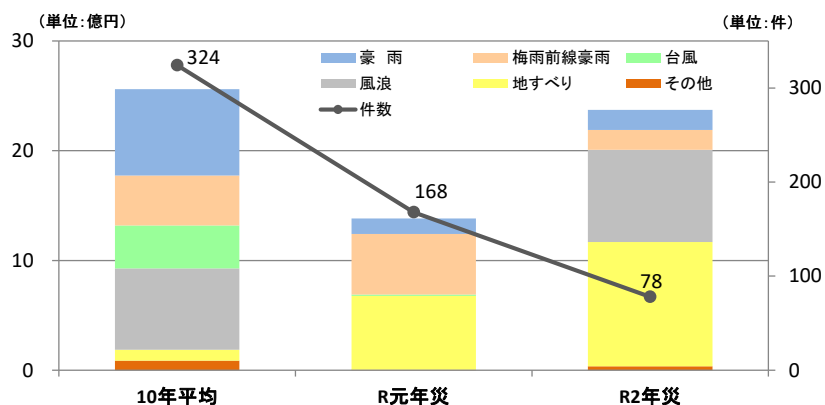
富 山 県

富山県内における災害復旧事業費は、6月に黒部市などが被害を受けた梅雨前線豪雨に加え、3月に朝日町の海岸で発生した風浪による被害などにより、4億5千万円(30件)となりました。【県内では件数、金額共に過去最少】



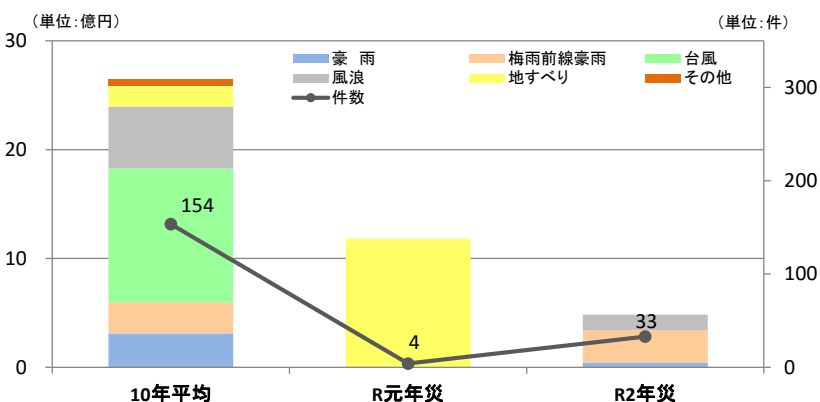
石 川 県

石川県内における災害復旧事業費は、2月から11月にかけて白山市で発生した地すべりによる被害や、1月に小松市などの海岸で発生した風浪による被害などにより、23億7千万円(78件)となりました。【県内では件数で過去4番目、金額で過去12番目の少なさ】



福 井 県

福井県内における災害復旧事業費は、6月に福井市などが被害を受けた梅雨前線豪雨に加え、1月に越前町の漁港で発生した風浪による被害などにより、4億8千万円(33件)となりました。【県内では件数で過去6番目、金額で過去5番目の少なさ】



〔 参 考 〕

北陸3県の災害復旧事業費の推移

(単位:件、億円)

西暦	区 分	3県計		県 別 内 訳						主な被災原因
		件数	金額	富山県		石川県		福井県		
				件数	金額	件数	金額	件数	金額	
2020	2年災	141	33.0	30	4.5	78	23.7	33	4.8	
2019	元年災	242	33.1	70	7.4	168	13.8	4	11.8	
2018	30年災	1,197	103.2	260	20.2	795	54.5	142	28.4	梅雨前線豪雨
2017	29年災	1,054	135.1	303	36.4	421	43.7	330	55.0	台風21号
2016	28年災	211	15.5	111	9.6	76	3.0	24	2.9	
2015	27年災	81	54.1	37	5.8	22	39.5	22	8.7	
2014	26年災	530	41.4	245	8.8	230	13.4	55	19.2	
2013	25年災	1,614	111.4	342	14.0	682	28.5	590	69.0	台風18号
2012	24年災	335	62.7	205	7.9	50	19.5	80	35.3	
2011	23年災	952	71.5	182	10.1	515	29.5	255	31.9	
2010	22年災	521	19.0	204	6.2	284	10.6	33	2.3	
2009	21年災	313	16.0	82	5.7	226	9.2	5	1.1	
2008	20年災	1,904	148.9	1,222	97.1	660	48.2	22	3.6	金沢市、南砺市豪雨
2007	19年災	2,935	368.0	207	6.5	2,695	356.2	33	5.3	能登半島地震
2006	18年災	1,711	119.6	305	19.4	962	60.3	444	39.8	梅雨前線豪雨
2005	17年災	1,738	86.6	681	28.0	904	46.9	153	11.7	
2004	16年災	4,290	538.2	772	68.6	553	66.3	2,965	403.3	福井豪雨
2003	15年災	466	41.9	251	13.3	162	13.0	53	15.6	
2002	14年災	1,789	133.9	530	25.8	1,014	60.1	243	48.0	梅雨前線豪雨
2001	13年災	902	100.6	371	32.5	394	54.4	137	13.7	
2000	12年災	1,037	66.5	415	17.2	465	32.3	157	17.0	

注1: 表示単位未満は四捨五入をしているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

注2: 件数の過去最少は平成27年、3番目は平成28年、金額の過去最少は平成28年、2番目は平成21年、3番目は平成22年です。

北陸財務局は、台風や大雨などによって、県や市町村管理の道路や河川などの施設が被害を受けた場合、災害復旧に必要な事業費の決定に際し国土交通省や農林水産省等の担当官と共に現地に立会し、復旧事業費の決定を行っています。

これにより、県や市町村が災害復旧に必要な工事が早期に実施可能となるよう、財務省は迅速な予算措置を行っています。